中堅現職研修

私学の教師として「中堅」とよばれるキャリアと実践を積み重ねてこられた先生方にぜひ分かち合っていただきたい「ふたつの力」を培う研修会です。ひとつ目は、建学の精神にたち返り、かつ教育を取りまく現実、そして未来をしっかり見据える「縦の力」。ふたつ目は、「自校」という蛸壷に留まらず、同時代を生きる他の私学の仲間と繋がり生きる「横の力」。この研修会は、教員生活での生き甲斐と共に、マンネリ化も感じておられるかもしれない先生方に、このふたつの力を磨いていただき、学校づくりへの新たな passion を引き出すものです。修了後ここでの出会いが、私学の教師としての深い mission の実践意欲と「中堅現職同窓会」にも広がりを見せている仲間同士の深い繋がりをもたらすきっかけとなるでしょう。

多種多様な講座や座学に留まらない体験的学習そして分散会、３日間を通じて得られる参加者同士の交流も含め、今年も一段と充実させた内容にどうぞご期待ください。自らを磨き、高め合うことのできる内容を盛りだくさん用意いたしております。

お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申しあげます。

１．会　　期　　**８月７日（木）・８日（金）・９日（土）の２泊３日（現地集合・現地解散）**

２．会　　場　　**「NASPA　ニューオータニ」**上越新幹線「越後湯沢駅」下車、ホテル送迎バスで３分
〒949-6101　新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢 2117-9　　TEL：025-780-6111
http://www.naspa.co.jp（会場の様子等ご確認ください）

３．募集定員　　**３０名**（都内各私立中学高校の教諭、主任・部長ほか。１校何名でも可、先着順に受け付けます）＜昨年度の参加者の平均年齢は、38.8 歳でした＞

４．参 加 費　　１名につき**３６，０００円**（宿泊費・食費・資料代など）

５．日　　程　　８月７日（木）１０：３０受付開始　　１１：００開会式
８月９日（土）１６：３０閉会式終了

月日＼時間（9〜7時）											
８月７日（木）		受付	開会式	エンカウンター	昼食	講座①	休憩	分散会①	休憩	夕食	
８月８日（金）	朝食	講座②	分散会②	昼食	講座③	分散会③	休憩	講座④	休憩	夕食	
８月９日（土）	朝食	講座⑤	休憩	分散会⑤	昼食	分かち合い	閉会式	解散			

６．研修内容

・エンカウンター　　原田　泰宏（東京純心女子中学高等学校教頭）
白髪　美由樹（東洋女子高等学校教諭）

・講座①「電子黒板を活用した授業効果について（実践報告）」　　聖徳学園中学高等学校

聖徳学園中学高等学校では、24 年度より教育現場での ICT 活用についての具体的な方法の研究・開発が行われています。その活用範囲は主要教科から、文化祭などの行事、特別活動や部活動など課外活動まで広がり、インターネットと併用することで生徒の利用も増え、インタラクティブな授業も増加しているとのことです。私立学校ならではの電子黒板を活用した授業等とその効果についての実践発表です。（平成 24・25 年度　当協会研究所　研究協力校）

・講座②「人間関係づくり・教師の悩みと人間関係」　　諸富（もろとみ）　祥彦（よしひこ）　明治大学教授

例年ご好評をいただいている講座です。「かたくなな」人間の心、緊張の連続、その心から解放されなければ、イキイキとした教師にはなれません。こころとこころのふれあい、活気のある人間関係づくりは、どうすれば可能でしょうか？カウンセリングの基本を生かした人間関係づくりについて体験もまじえて学んでいきます。

・講座③「私学の危機管理　～裁判例の分析を通じて～」　　坂田（さかた）　仰（たかし）　日本女子大学教授

学校の危機管理の観点から、学校が抱えている現実を裁判例を基に、わかりやすくお話しをいただきます。保護者や地域の理解を得つつ、問題発生時に適切な対応を行うにはどのような事前の準備が必要なのか。また昨年、成立した「いじめ防止対策推進法」についても解説をいただきます。これから学校を担う先生方に是非とも学んでいただきたい内容です。

・講座④「フィジカルボイストレーニング」　　玉澤（たまざわ）　明人（あきひと）　日本フィジカルボイス協会理事長

声の抑揚を上手にコントロールすることで生徒への伝わり方が大きく変わります。また自己の発声法を見直すことで、喉への負担を減らし、長時間話しても疲れないようになります。この講座では発声の専門家である玉澤先生に「声を出すための筋肉」の正しいトレーニング法を学びます。教師生活に欠かせない基礎トレーニングのひとつです。

・講座⑤「東京の私立学校と、私学協会の関わりを考える＜将来の私学を担う中堅現職の皆さんへ＞」

實吉（さねよし）　幹夫（つねお）　東京私立中学高等学校協会　副会長

私学を取り巻く環境の厳しさと不安が渦巻く中、私学協会と私立学校はどのような関わりを持ち、どのように支え合っているのか。未来からの留学生に対して、よりよい教育環境を構築するため、また私学人としての意識や役割を一層高めるため、私学の将来を担う「中堅現職」の皆さんに、協会副会長として、一私学の理事長・校長としてもその思いを語りかけます。

・分散会

講座①～⑤（④を除く）の後で、グループに分かれ約 1 時間、講師と現職の校長等が協議に加わり、参加者と意見交換をいたします。

・「フリートーク」（自由参加：夜 8 時 30 頃～10 時を予定）

参加者が抱える問題を、参加者同志で考えます。そして、問題の共有化と解決に向けての糸口を探ります。現役の校長等も加わり、白熱すれば、続きは各部屋で心行くまで議論をしていただきます。

・「分かち合い」（3 日目午後）

この研修会を通し、何を感じ何を思ったのか、研修会最終日に一人一人の発言を参加者全員で分かち合い、研修の成果を共有いたします。そして、単なる研修会を脱し、将来への行動と連帯意識の形成を目指します。

７．委　　員　委員長　實　吉　幹　夫（東京女子学園中学高等学校理事長校長）
加　川　紀代子（前学習院女子中等科高等科長）
滝　口　佳津江（田園調布雙葉中学高等学校長）
須　藤　　勉（東京学園高等学校副校長）
原　田　泰　宏（東京純心女子中学高等学校教頭）
白　髪　美由樹（東洋女子高等学校教諭）